

作成 令和5年7月5日  
摂津市議会議員 松本暁彦

令和5年第2回定例会一般質問

～本会議3日目・令和5年6月27日～ 議事録(抜粋)

## 7 幼保小中連携での生きる力を育むことについて

### 質疑概要

生きる力の向上は一つの施策だけでは難しい。総合的な取り組みが求められる。そのために就学前施設、小学校、中学校の一貫した連携と教育が必要である。「就学前教育・保育実践の手引き」の改訂など、それぞれの取り組みについて質疑を行った。

### ○松本議員

7 幼保小中連携での生きる力を育むことについて、小1から差が生じていることを踏まえ、一定の力を付けるための就学前教育が必要だと提言しています。「就学前教育の実践の手引き」の改訂においては提言内容も踏まえ、どう取り組まれたのかお聞かせ下さい。

(略※)

### ○福住議長

次世代育成部長

### ○次世代育成部長

「就学前教育・保育実践の手引き」についてのご質問にお答え致します。

令和5年3月に改定した「就学前教育・保育実践の手引き」についてでございますが、平成23年度に策定した前手引きの考え方を踏襲しつつ、平成30年度に施行された幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に則った教育・保育内容を、学校園職員に向けて、より実践的に示した手引きであると考えております。

改訂にあたりましては、市内の幼稚園、認定こども園、保育園、小規模園を含む公私立の各園、教育委員会関係課、小学校1年生の担任の先生方、さらには校長先生等のご協力のもと、様々なご意見をいただき、完成したものでございます。

内容と致しましては、特に保幼こ小の連携・接続に重点を置き、必要な教育・保育内容を網羅するとともに、本市の課題でもあります運動能力の育成につきましても、新たに記載したものでございます。

また、議員からこれまでご示唆いただいております、言葉の大切さや学びの基礎力の育成等に関しまして、令和3年度に実施した就学前教育に関するアンケートや令和4年度実施の保幼こ小合同

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

研修会、またそれぞれの先生方にお集まりいただきました保幼小意見交換会等のご意見等も参考にしながら、**認知能力・非認知能力の育成**という観点から、手引き内の言葉の領域だけでなく、全体を通じて表現しているものであります。

(略※)

### ○松本議員

次に生きる力を育むことについて、しっかりと課題を研究され、**言葉等の提言**内容も踏まえ作成されたことを高く評価致します。

また、合わせて保幼小の連携には**小1スタートカリキュラムが必要**だと昨年6月議会にて提言していますが、その取り組みについてはどうか、お聞かせ下さい。

### ○福住議長

教育総務部長

### ○教育総務部長

子どもたちが就学前教育で、どのような学びや生活を経験してきたかを小学校教員が知り、その内容踏まえ、小学校段階の学びを構築していく事は重要であると捉えております。

今回改訂いたしました「就学前教育・保育実践の手引き」は、保育士だけでなく、小学校教員も作成に関わっており、改訂を行いました。「就学前教育・保育実践の手引き」には、**就学前教育と小学校教育の目指す目的をそれぞれ掲載**し、就学前教育で大切にしてきた「就学までに育てほしい資質・能力」が、小学校入学後の子どもたちの学びにどのように繋がっているかがわかるよう具体的な事例も掲載しております。

今後は、「就学前教育実践の手引き」からポイント抜粋したリーフレット等を作成し、それらを活用した研修会を実施するなど、**市内全小学校教員が就学前教育との繋がりを意識した実践**を行うとともに、とりわけ小1プロブレムに代表されるような子どもたちの小学校入学時の不安を取り除く取り組みを実践していけるよう指導して参ります。

### ○福住議長

松本議員。

### ○松本議員

現状はよく分かりました。是非、**小1プロブレム解決**のためにもしっかりと作成されるよう要望致します。

今回の手引きの改訂には就学前教育施設だけでなく、先ほどの答弁にありました小学校との調整も必要であり、担当部署の**コーディネーターが両方を行き来し活躍された**と多くの方から高い評価をお聞きしています。

また「就学前教育実践の手引き」を生きたものにするには、**継続した取組みが必要**です。よって**園**

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

と学校の架け橋となるコーディネーターは今後においても必須ですが、教育委員会の見解をお聞かせ下さい。

### ○福住議長

次世代育成部長

### ○次世代育成部長

就学前教育と小学校教育の架け橋となるコーディネーターについての質問にお答えいたします。

先ほどご答弁いたしましたように、今回の手引きの改訂では、保育所・幼稚園・こども園・小学校の連携・接続に重点を置いており、就学前施設等の先生方がそういったことを意識しつつ手引きを活用していただくことが重要であると考えております。

その上で、実際に小学校へ入学した子供たちの様子等を確認しつつ、取組みの効果を検証していく必要がございます。

その役割を担うことができるのが、コーディネーター的な人材であり、現在は就学前教育推進担当参事がその任に当たっております。

教育委員会としても、引き続きそのような資質・能力を備えた人材が必要であり、まずは、一定の経験と研修等を通じて認定される幼児教育の専門的な知見や豊富な実務経験を有する幼児教育アドバイザーの育成に努めつつ、その中からコーディネーターとなり得る人材を見極めていくことになると考えております。

### ○福住議長

松本議員。

### ○松本議員

是非、架け橋を維持・継続されるよう要望致します。

さて、生きる力を育むことで忘れてならないのはずっと提言しています「やる気スイッチ施策」です。その一つとしてキャリア教育がどんどん進められていますが、小学校、中学校において、どう取り組まれているのかお聞かせ下さい。

### ○福住議長

教育総務部長

### ○教育総務部長

キャリア教育は、日々の授業や学級活動の中で社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、自分らしい生き方を実現させる教育と言われております。

学校での学びと生活のつながりに気づいたり、自分の良さや可能性に気付いたりするキャリア教育の取り組みは小学校段階から重要であると考えており、本市では、子どもが家族など自分自身に

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

近い存在から、地域や日本、世界へと少しずつ視点を広げ、様々な大人や社会との関わりの中から自分自身の生き方を考え、学びを深めるよう取り組んでおります。

令和5年度、小学校では摂津市商工会等と連携し、子どもたちが地域にある様々な業種の企業の方から働くにあたっての思いなどを聞き、交流する機会を設定しております。中学校では、企業が抱える課題に対して自分たちの考えを提案する「職種体験プログラム」に加え、少人数の生徒と社会人がグループに分かれ、仕事の事や生き方について対話する「社会人トーク」など、各中学校が学校の実態に応じたキャリア教育プログラムを考え、それを実践しているところでございます。

子どもたちが「未来を切り拓く力」を育むために、なぜ学ぶのか、学んだことが将来どう役立つのか、学校で学んでいる内容が将来の生き方に結びついていることを実感させることができるよう引き続き取り組んで参ります。

## ○福住議長

松本議員。

## ○松本議員

小学校にも広め着実に進めているとのことで、高く評価致します。

学ぶ力の向上は一つの施策だけでは上がりません。総合的な取り組みが求められます。就学前教育施設、小学校、そして中学校も含めた一貫した連携・教育が必要です。しっかりと進められるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

### <一般質問・項目一覧>

- 1 鳥飼地域のまちづくりについて
- 2 新型コロナワクチン接種状況等と接種券一律送付の必要性の有無について
- 3 市が災害対策本部訓練等を実施しないことの妥当性について
- 4 児童虐待防止施策を一過性で終わらせないことについて
- 5 R6年度以降の公共施設整備の財源確保について
- 6 増加一方の救急出動と消防力強化の取組みについて
- 7 幼保小中連携での生きる力を育むことについて**
- 8 明和池公園と新幹線公園の価値向上とシティプロモーション推進について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]